




就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA CREATIVE 東町
住所	福岡県久留米市東町25-3 プラザビル 2F
電話番号	0942-65-6842

事業所番号	4012702751
管理者名	平野将太
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所: ベジサーク(施設外就労先) ・実施日程: 令和7年7月～ ・実施した生産活動・施設外就労の概要 チラシ、ポスター、タペストリーの作成業務 ・利用者数: 2～3名にて 	<p><活動の様子></p>   
<p><目的></p> <p>一般就労でも通用するデザイン制作やバックオフィス実務を通じて、利用者の専門スキルと職業的自立心を養うこと、単なる作業代行に留まらず、クライアントである企業様の「会社案内」や「タペストリー」といった、対外的に重要な役割を持つ制作物を担当することで、責任感とプロ意識の醸成を図ることを目的としています。</p> <p>また、先方の意図を正確に汲み取るヒアリング能力や、修正依頼に対する柔軟な対応力を磨くことにより、一般就労において不可欠な「クライアントワークの基礎」を実践的に習得し、福祉の枠を超えた質の高いサービス提供を目指しています。</p>	
<p><成果></p> <p>今回の連携を通じて、当事業所の制作物が一般市場においても信頼される品質であることを実感することができ、先方のイベント準備における負担軽減や業務効率化に貢献することができました。特に、細やかな修正への柔軟な対応や、ニーズを先取りした提案が先方の安心感に繋がり、障がいの有無に関わらず信頼関係を構築できたことは大きな成果です。</p> <p>この実績により、制作受注から、今後はデザイン面や広報面を含めた包括的なサポートへと業務範囲を拡大する足掛かりが得られました。企業様側からも継続的な連携を希望していただいている為、今後も利用者にとってより実践的な業務へ挑戦できる、作業機会の創出を実現しています。</p>	



連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>弊社のバックオフィス業務およびイベント関連制作物の作成をご対応いただきました。会社案内やタペストリーなど、対外的な場面で使用する重要なアイテムを丁寧に仕上げてください。細かな修正にも柔軟に対応いただき、意図を汲み取ったご提案をいただける点に安心感があります。イベント時の準備負担軽減や社内業務の効率化につながっており、大変助かっております。障がいのある方々が関わって制作されているとは思えないほど、品質面でも十分に信頼できる仕上がりであり、今後も継続的にお願いしたいと考えております。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>年間スケジュールや繁忙期を見据えた計画的な発注体制を構築できれば、より安定した連携につながると感じております。また、弊社側からの情報共有(イベント日程・販促計画など)を早めに行うことで、より質の高い提案や制作準備が可能になると考えております。今後は制作業務に加え、デザイン面や広報面でのサポートも含め、連携の幅を広げていければ幸いです。</p>			
連携先企業名	株式会社ベジサーク	担当者名	尾形 朝矢

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA CREATIVE東町	事業所番号	4012702751
住所	福岡県久留米市東町25-3 プラザビル2F	管理者名	平野将太
電話番号	0942-65-6842	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和7年 3月18日(月)11時～12時 ・場所 TANOSHIKA CREATIVE諏訪野町 ・講義「身だしなみについて」 ・講義者 合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏 ・参加者 職員1名 利用者名5名 <p><目的></p> <p>一般就労に対して、活動をしている又は活動を予定している方たちに、企業が求める着こなしのレクチャーを頂きたく今回の講義を依頼致しました。</p> <p><成果></p> <p>研修を通じて、利用者様一人ひとりが身だしなみがなぜ重要なのか？メリットはどこになるのか？などを自分事として、メモを主体的にとって質問をされていました。就職を目指している利用者さんのやる気に繋がったこと、身だしなみの考え方も変化したとの感想もあり、就職に向けた発奮のきっかけとなる講義となりました。宮本講師からも月に1回の「フォーマルデイ」においても、「面接における服装なのか？カジュアルな見学を想定した服装なのか？」といった目的意識をもった取り組みをしないと、利用者さんからするとやらないといけない認識になってしまう。」というお言葉を頂き、職員の中でも支援を見直すきっかけとなった講義でした。</p>	<p><活動の様子></p>  
---	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>今回の研修は参加者および職員に向けて『身だしなみ』についての講義をベースラインとして日々の生活面の見直しや事業所での過ごし方、事業所で取り組む内容について視点のすり合わせを行うことを目的とし、『身だしなみ』と一言で表現しても意識することは『ただ単にスーツの着方を教える』ではなく『身だしなみを意識する理由・意味』という内容で講義を実施いたしました。身だしなみを整えていくことによってどのようなメリットが本人にとってあるのかを参加者と一緒に考えながら『やらないといけない』ではなく『自分からチャレンジしよう』という意識変化につながればと考えています。またスーツ等の身だしなみの整え方については具体例として一人一人の『本日の服装』についてのフィードバックを行いながら気をつけるポイントを整理しました。参加いただきました皆様께서しっかりとメモを取りながら主体的に参加いただき、また自身の服装についての気をつけるポイントを参加者同士で確認したり日々の生活の中で意識する内容をしっかりと記録されていたと感じています。</p> <p>本日の講義が今後の利用者様の身だしなみなども含めて日々の生活の準備についての意識するきっかけとなり、また職員の皆様께서日々の利用者様との関わりの中で一緒に考えていくポイントを整理する機会となれば幸いです。</p>	
連携先企業(担当者)	合同会社Dweild(宮本 孝之)

利用者からの意見・評価

<p>今回の就労プログラムで、就活時に役立つ身だしなみの整え方について学びました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肩やひげなど普段からお手入れを習慣化しておくこと。 2. 服装(スーツや靴)の正しい着こなし方、所持品の扱い方。 3. 周りのことを考えた所作を普段から気をつけること。 <p>など、ハツと見て分かる所から細かい部分まで、きちんとしておいた方が、相手からの印象が良くなる情報がたくさん知ることができました。</p> <p>宮本さんの話を聞いて感じたのは、普段の生活の何気ないことが、就活時の振るまいや所作に繋がっているということでした。普段から自分の行動や身だしなみなどを「整える」習慣を付けることで、就活だけでなく、働き始めてからも周りの印象は変わってくるということが分かりました。また、身だしなみを整えるということは、自分だけのためではなく、周りの人にとっての配慮にもなると知ることができました。</p>
--